

文京区立図書館よりおうちのかたへ

幼い時の素晴らしい絵本との出会いは子どもの心の成長にとって、なにもかえがたいものです。

ここに紹介した本は、図書館で子どもに喜ばれているものばかりです。ゆったりとした気持ちで、生の声で読んであげてください。

きっと、絵本の楽しさをあじわって頂けると思います。

年齢別に0～1歳、2～3歳、4～6歳と分けてありますが、これにとらわれず、いろいろ読んであげてください。

その他に、昔話えほん、知識えほんも集めて掲載しています。こちらもお子さんと一緒に楽しんでください。

凡　　例

1. ここに収録した作品は、1994年から2001年にかけて図書館員が選んだおすすめの絵本リスト「えほんがすき」をもとに、あらためて選定・編集したものです。その後出版された本や、さらに加えたい本を新たに選定し、2018年改定第二版としてもりこみました。
2. 126冊を次の5つのグループに分け、グループごとに書名の五十音順としました。

0～1歳向き	19冊
2～3歳向き	27冊
4～6歳向き	53冊
昔話えほん	15冊
知識えほん	12冊

3. 著者名、画家名の表示は絵本の表紙のとおりとしました。
4. 他にシリーズのあるものは、それぞれの解題の最後に（シリーズあり）と表示しました。
5. 本の表紙の掲載については、各出版社の了承を得ております。

目 次

対 象	ページ
0～1歳向き · · · ·	1～ 5
2～3歳向き · · · ·	6～12
4～6歳向き · · · ·	13～26
昔話えほん · · · ·	27～30
知識えほん · · · ·	31～33
索 引 · · · ·	34～37



いないいないばあ

松谷 みよ子 作

(童心社)

瀬川 康男 絵

「いない　いない」と顔を隠しているくまやねこが、ページをめくるごとに「ばあ」と顔をみせます。

登場人物のひょうきんな表情が楽しく、赤ちゃんとのスキンシップを深めるのにぴったりです。

(シリーズあり)



おつきさま こんばんは

林 明子 作

(福音館書店)

夜になりました。屋根の上から出てきたのは、まんまる顔のお月様。お月様は笑ったり、泣きそうになったり、夜がふけるにつけ、いろいろ表情が変わります。夜空の紺色を背景に、お月様の優しい黄色が鮮やかに映え、心が温まります。(シリーズあり)



おっぱいおっぱい

わかやま けん 作

(童心社)

おっぱいをさがして泣いていたさるさんも、お母さんに抱っこされて、ちゅちゅと飲んでいます。さまざまな動物の授乳の様子を通してお母さんと赤ちゃんの触れ合いかが描かれています。

リズミカルな言葉使いで、おっぱいを飲むことの楽しさが伝わってきます。



おててがでたよ

林 明子 作

(福音館書店)

赤ちゃんが服をすっぽりかぶっています。だんだん手や顔ができますが、片方の足だけなかなか出できません。最後に「すぽん　でたー」と喜びでいっぱいの笑顔が広がりました。(シリーズあり)

(0~1歳)



おやすみ

なかがわ りえこ 作

(グランママ社)

やまわき ゆりこ 絵

どろんこになって遊んだこいぬたちは、お風呂に入つていい気持ちです。おいしい晩ごはんを食べたあとは、お母さんに絵本を読んでもらいます。

小さな子どもの夕方から、夜眠るまでの様子が、やわらかい線で描かれています。(シリーズあり)



がたんごとんがたんごとん

安西 水丸 作

(福音館書店)

「がたんごとん がたんごとん」汽車が走っています。「のせてください」と哺乳ビン、コップなどが次々に乗ってきます。

汽車の走るリズムが心地よく、明るく親しみやすい絵で描かれています。(シリーズあり)



くだもの

平山 和子 作

(福音館書店)

大きな丸いすいか、切ったすいか、もも、ぶどう、りんごなど子どもの大好きな果物が「さあ どうぞ」と次々に差し出されます。

どれも本物そっくりでおいしそうで、思わず手を出し、口をもぐもぐさせてしまいそうです。



くつついた

三浦 太郎 作

(こぐま社)

きんぎょさんときんぎょさんが、ページをめくると…くつついた! アヒルさん、ぞうさん、おさるさんたちも、ページをめくるとくつついた! その繰り返しが楽しくて、大人まで笑顔になる本です。最後は赤ちゃんとお母さん、お父さんがくっつきます。(シリーズあり)

ころころころ

元永 定正 作

(福音館書店)

ころころころ

元永 定正 作

大きく開いた口から、色とりどりの玉が一列になって出てきました。階段道やでこぼこ道、あらしの道を、ころころころと前進していきます。

色玉の動きに合わせて読みかたを変化させると、より一層楽しめます。



じゃあじゃあびりびり

まつい のりこ 作

(偕成社)

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「いぬ わんわんわんわん」など、身近にある物から出る音を集めた本です。

いろいろな音がとてもリズミカルで、赤ちゃんの大好きな繰り返しで表現されています。



しろくまちゃんのほっとけーき

わかやま けん 絵

(こぐま社)

しろくまちゃんは、お母さんとホットケーキを作り、こぐまちゃんとふたりでいっぱい食べました。

原色ではっきり描かれた絵から、自分で作るおもしろさや、友だちと食べる楽しさが伝わってきます。

(シリーズあり)



たまごのあかちゃん

かんざわ としこ 文

(福音館書店)

やぎゅう げんいちろう 絵

「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはだあれ？」の呼びかけに、にわとりやかめ、ペンギンなどの動物の赤ちゃんが出てきます。

出てくる赤ちゃんの表情は豊かで、太い線とはっきりとした色使いで描かれています。

(0~1歳)



ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ 文／絵

(福音館書店)

いしい ももこ 訳

ふわふわさんとふわおくさんに、かわいい赤ちゃんが生まれました。「うさこちゃん」と名づけられ、動物たちがお祝いにかけつけました。

明るい原色に黒でふちどられたはっきりした絵の登場人物は、必ず正面を向いて語りかけてきます。
(シリーズあり)



どうすればいいのかな?

わたなべ しげお 文

(福音館書店)

おおとも やすお 絵

幼いくまの子が、ちぐはぐに服や靴を身につけながら、「どうすればいいのかな?」とひとつひとつ考えていきます。そして、最後には、ちゃんとおでかけの用意ができました。言葉の繰り返しが快く、柔らかな色彩の絵です。
(シリーズあり)



ととけっこう よが あけた

こばやし えみこ 案

(こぐま社)

ましま せつこ 絵

はやおきのニワトリさんが、うたを歌いながらみんなを起こしていきます。「ととけっこう よがあけた」と声をかけると、動物たちが起きだてきて、ニワトリさんに朝のあいさつをします。わらべうたを元にしたカラフルな絵本です。(シリーズあり)



どのはな いちばん すきな はな?

いしづかまろこ 文

(福音館書店)

わきさか かつじ 絵

ぐんぐんのびる花、ならんで咲く花、風にそよぐ花など、色とりどりの花がカラフルな色彩で描かれています。そえられた言葉もやさしく、声に出して読む楽しさのある絵本です。

(0~1歳)



にんじん

せな けいこ 作／絵

(福音館書店)

「にんじんのすきなこだあれ」と聞くと、うまやきりん、さる、うさぎなど次々といいろいろな動物が、おいしそうににんじんを食べながら出でてきます。

和紙の毛羽立ちを上手に使った、楽しいはり絵の絵本です。



ねこがいっぱい

グレース・スカール 作

(福音館書店)

やぶき みちこ 訳

大きいねこ、小さいねこ、ぱちぱちねこ、ほそいねこ。いろいろな姿のねこが登場し、みんな一緒に「にゃーお」と鳴きます。

身近な動物であるねこが、それぞれ個性豊かに描かれています。(シリーズあり)



もうおきるかな？

まつの まさこ 文

(福音館書店)

やぶうち まさゆき 絵

「ねんね」と「おっき」は赤ちゃんにとって大切なこと。それをいろいろな動物で表現しています。

背景のない絵で、赤ちゃんの目にも動物がとらえやすく、ページをめくるごとに「もうおきるかな?」「あー、おきた!」と赤ちゃんも一緒に参加できる本です。

(2~3歳)



あかいかさ

ロバート・ブライト 作

(ほるぷ出版)

しみず まさこ 訳

女の子は赤い傘をもってでかけます。すると雨が降ってきて、こいぬが「いれて」とやってきます。動物たちが次々とやってくると、傘はだんだん大きくなって、みんな赤い傘の中にはいります。

やさしい語り口なので、読み手にも聞き手にも心地よく響きます。



おかあさんとこども

H. A. レイ 作

(文化出版局)

石竹 光江 訳

「おかあさんうしだよ。ひらいてごらん」折り返しを開くと、こうしが出てきました。

この本はしきけ絵本になっていて、めくるたびに、次々と絵が変化することで、子どもの心に楽しい驚きが広がります。(シリーズあり)



おでかけのまえに

筒井 賴子 作

(福音館書店)

林 明子 絵

今日は、ピクニックにいく日です。あやこは、お手伝いをしますが、うまくいきません。外に行けば、着替えたばかりの服を汚してしまいます。

おでかけがうれしくて、どうにも待ちきれない子どもたちの様子が愛らしく描かれています。



おやすみなさいコッコさん

片山 健 作／絵

(福音館書店)

コッコさんは小さい女の子です。お月さまが「コッコさんおやすみなさい。おそらのくももねむったよ」と声をかけても「コッコはねむらないもん」と眠りません。繰り返しの中に安らぎがあふれています。

(シリーズあり)

(2~3歳)



おやすみなさいのほん

マーガレット・ワイズ・ブラウン 文 (福音館書店)

ジャン・シャロー 絵

いしい ももこ 訳

夜になります。おひさまもこねこも、そして子どもたちも、なにもかもみな眠ります。

おだやかな口調の文章は快く、おおらかな線の絵にも温もりが感じられます。

かばくん

岸田 裕子 作

(福音館書店)

中谷 千代子 絵

かばを主人公に、動物園の1日を描いています。かばから見た人間と人間から見たかばの様子が、リズミカルな文章でつづられています。布目を生かした油絵からは、かばの親しみやすさと共に、重量感までが伝わってくるようです。(シリーズあり)



きつねとねずみ

ビアンキ 作

(福音館書店)

内田 莉莎子 訳

山田 三郎 絵

お腹がペコペコのきつねは、穴を掘っているねずみを見つけました。そして、その理由を聞くと、「あんたから、かくれるためさ」と隠れてしまいます。

写実的な絵と簡素な構成で、2匹の駆け引きをユーモラスに描いています。



きんぎょがにげた

五味 太郎 作

(福音館書店)

金魚鉢から、1匹の赤い金魚が逃げ出します。カーテンの水玉、赤い花、いちごと次々に隠れるのですが、やっぱり最後は仲間たちのいる池の中へ戻りました。

隠れた金魚を探す楽しさと、鮮やかな色彩が印象的です。



(2~3歳)



くまのテディちゃん

グレタ・ヤヌス 作
ロジヤー・デュボアサン 絵
湯沢 朱実 訳

こぐまのテディちゃんはズボンをはいて、エプロンをしていすにすわります。テディちゃんは、コップやスプーンも持っています。

見開きのページにひとつずつ交互に、持ち物とそれを使うテディちゃんが描かれています。



サンドイッチ サンドイッチ

小西 英子 作 (福音館書店)

ふわふわのパンにバターをぬったら、しゃきしゃきレタスに真っ赤なトマト、さらに穴あきチーズも乗せて、おいしいサンドイッチを作りましょう。さまざまな食べ物が瑞々しく、色鮮やかに描き出された絵本です。



ぞうくんのさんぽ

なかの ひろたか 作／絵 (福音館書店)
なかの まさたか レタリング

ぞうくんが散歩に出かけます。かばくん、わにくん、かめくんを次々と背中にのせていくと、池の中に「どぼーん」と落ちてしまいますが、みんなで水遊びをしてごきげんです。

(シリーズあり)



そらはだかんぼ！

五味 太郎 作 (偕成社)

「おふろですよ はだかんぼになりなさい」といわれたライオンは、たてがみを脱いでくまに変身します。もう一度、毛皮と服を脱ぐと、現れたのは男子でした。これですっかり裸になって、楽しくお風呂に入ります。

(2~3歳)



タンタンのぼうし

いわむら かずお 作

(偕成社)

こざるのタンタンは大好きな帽子を回したり、ころがしたり、投げたりして遊びます。ところが、高く投げ上げた帽子は夜になっても落ちてきません。やっと落ちて来た帽子には星がひとつ入っていました。

(シリーズあり)



ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイル 作

(ほるぷ出版)

いわた みみ 訳

森中の動物たちは、小さいゴリラの「ちびちび」が大好きです。誕生日、ちびちびはぐーんと大きくなりました。この先どんなに大きくなっても、みんなやっぱり大好きです。

愛されることのうれしさが、絵からも伝わってきます。



できるかな？あたまからつまさきまで

エリック・カール 作

(偕成社)

くどう なおこ 訳

ゴリラやきりんが、次々に特技をして見せます。「できるかな？」と呼びかけられた子どもはまねっこが大好き。動物の動きに合わせて体を動かします。

絵本と一緒に、思わず体が動きだします。



でんしゃ

バイロン・バートン 作／絵

(金の星社)

開くとまず、線路があります。電車が走ってきます。様々な電車とそれ違い、トンネルや踏切を通って、昼も夜も走ります。たくさんのお客さんや働く人々も登場します。シンプルな文章と絵が力強く、想像がふくらみます。

(シリーズあり)

(2~3歳)



どれがぼくかわかる？

カーラ・カスキン 文／絵

(偕成社)

よだ しづか 訳

ウイリアムのお母さんは、ウイリアムのことならなんでもわかります。ウイリアムがうまやひつじに変身し、動物たちにまぎれていってもすぐに見つけてしまいます。

お母さんと一緒にウイリアムを探す楽しさがあります。



にんじんさんがあかいわけ

松谷 みよこ 文

(童心社)

ひらやま えいぞう 絵

「にんじん、だいこん、ごぼう」という、子どもたちにもお馴染みの野菜たちが登場し、一緒にお風呂に入ります。温かくポカポカしたお風呂場の風景の中で、「なぜ？」という子どもたちの好奇心をユーモラスに満たしてくれる作品です。(シリーズあり)



ねずみくんのチョッキ

なかえ よしを 作

(ポプラ社)

上野 紀子 絵

お母さんが編んでくれた赤いチョッキは、ねずみくんにぴったりです。それをあひるくんにちょっと貸したつもりが、次々と大きな動物たちの手に渡り、どんどん伸びてしまいました。

白黒の絵にチョッキだけを赤一色で彩っています。
(シリーズあり)



はけたよはけたよ

かんざわ としこ 文

(偕成社)

にしまき かやこ 絵

たつくんはひとりでパンツがはけません。裸のまま外に行くと、動物たちにしつぽがないことを笑われます。でも、しりもちをついたままでパンツがはけることを発見しました。

たつくんの喜び、誇らしさが伝わってきます。

(2~3歳)



はなをくんくん

ルース・クラウス 文

(福音館書店)

マーク・シーモント 絵

きじま はじめ 訳

雪深い森の中、木の中や地面の下で眠っていた動物たちは、春の気配に冬眠からめざめ、鼻をくんくんさせてかけて行きます。そこには小さな黄色い花がひとつ咲いていました。



はねはねはねちゃん

なかがわ りえこ 文

(福音館書店)

やまわき ゆりこ 絵

体操が大好きなはねちゃんが、次々に現れる動物たちと体を動かして遊びます。最後に来たのはうさぎさん。一緒にねて、しりもちついたら、はい、おしまい。親子で絵本に登場した動物の動きを観察に行くのも楽しそうです。



はらぺこあおむし

エリック・カール 作

(偕成社)

もり ひさし 訳

おなかをすかせた青虫が、果物やお菓子を食べて蝶になるまでを、明るい色彩のコラージュで描いています。青虫が食べぬけたものに穴を開けたしきけを、子どもたちがとても喜びます。



ぼくのくれよん

長 新太 お話／絵

(講談社)

大きなぞうが、青や赤、黄色のクレヨンで絵を描くと、動物たちは、池やバナナとかん違いします。ライオンに怒られたぞうは、もっと描きたくて、かけだしていました。

見開きいっぱいのクレヨン画は迫力があります。

(2~3歳)



もこもこもこ

たにかわ しゅんたろう 作

(文研出版)

もとなが さだまさ 絵

しーんとした場所へ「もこ」が現れ、隣に「によき」が出てきます。「もこ」は大きくなつて「によき」を食べてしまい、「ぱちん」と弾けてしまいます。

変わった言葉と、明るい色彩の絵が合わさり、不思議な世界を創りだしています。



わたしのワンピース

にしまき かやこ 絵／文

(こぐま社)

うさぎの子は、空から降ってきた真っ白な布でワンピースを作り散歩に出かけます。お花畠へ行くと花模様にかわり、雨が降ってくると水玉模様にと次々にかわります。

単純で明るい色彩の絵と、繰り返しの言葉が親しみやすい絵本です。



わにわにのおふろ

小風 さち 文

(福音館書店)

山口 マオ 絵

わにわには、お風呂が大好きです。お風呂に入るとおもちゃで遊んだり、シャボン玉を飛ばしたり、歌をうたったりします。もちろんお湯につかってしっかり温まります。お風呂が大好きなわにわにと一緒にお風呂に入りたくなる絵本です。(シリーズあり)

(4~6歳)



あおくんときいろちゃん

レオ・レオーニ 作／絵

(至光社)

藤田 圭雄 訳

ある日、あおくんは友だちのきいろちゃんを捜していく、やっと会えました。あおくんがうれしくてきいろちゃんに抱きつくと、色がまざって緑になってしましました。



あたし、ねむれないの

カイ・ベックマン 作

(偕成社)

ペール・ベックマン 絵

やまのうち きよこ 訳

一人で眠れないリーセンは、ベッドに人形を持ってきました。ところが人形はくまがないと、くまはいぬがないと眠れないと言います。一緒に眠るおもやは増えていき、とうとうリーセンの眠る場所はなくなってしまいました。そこへお母さんが助けにきてくれました。



あたしもびょうきになりたいな！

フランツ・プランデンベルク 作

(偕成社)

アリキ・プランデンベルク 絵

ふくもと ゆみこ 訳

弟のエドワードが風邪をひき、家族にやさしくしてもらうのを見たエリザベスはうらやましく感じました。ところが、いざ自分が病気になってみると何もできず、つまらない思いをします。

ねこを主人公に幼い子どもの感情を描いています。



あひるのさんぽ

ロン・ロイ 作

(童話館出版)

ポール・ガルドン 絵

谷川 俊太郎 訳

3羽のあひるの子が散歩に出かけました。すると、きつねやへびなどにねらわれますが、あひるの子はうまくかわして、悠々とお母さんのもとへ帰って行きました。

獲物をねらう動物たちと、無邪気に遊ぶあひるの子の表情が楽しく描かれています。

(4~6歳)



雨、あめ

ピーター・スピアー 作

(評論社)

姉と弟が庭にいると、雨が降りだします。そこで、レインコートを着て、雨の中へ遊びに出かけました。

雨降りの1日を、絵だけで生き生きと描いています。



ありこのおつかい

いしい ももこ 作

(福音館書店)

なかがわ そうや 絵

ありのありこは、おつかいの途中でかまきりにのまれ、かまきりはむくどりに、むくどりはやまねこに、と順々にのみこまれてしまいました。

動物たちのやりとりが愉快です。



アンガスとあひる

マージョリー・ブラック 作／絵

(福音館書店)

瀬田 貞二 訳

アンガスは知りたがりやのこいぬです。隣の庭にもぐりこんであひるを追いかけたアンガスは、反対に追い払われ、大あわてで家に逃げ帰ったのでした。

くっつきとした絵と横長の画面が、好奇心にあふれたこいぬの表情や動きをよくとらえています。

(シリーズあり)



いたずらきんしゃちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン 文／絵

(福音館書店)

むらおか はなこ 訳

まっ黒でびかぴかの小さい機関車ちゅうちゅうは機関士のジムたちの隙をみて逃げ出し、大騒動を巻き起こします。ジムは必死に追いかけて、やっとちゅうちゅうを見つけました。

白黒の絵と文章のレイアウトが大型絵本に生かされ、迫力を感じさせます。

(4~6歳)



おちゃのじかんにきたとら

ジュディス・カー 作

(童話館)

晴海 耕平 訳

ソフィーとお母さんの「おちゃのじかん」に突然やつてきたとらは、家中の食べ物を次々とたいらげてしまいます。でもおかげでレストランで幸せなひとときを過ごすことができました。いつもの日常に「とらがやってくる」という展開が楽しい絵本です。



おばけのてんぶら

せな けいこ 作／絵

(ポプラ社)

山で出会ったこねこくんにお弁当をわけてもらったうさこ。てんぶらがとてもおいしかったので、自分で作ることにしました。すると、おいしい匂いに誘われて、おばけがうさこの家にやってきました。ユーモアと温かみのある貼り絵絵本です。



おばけのバーバパパ

アネット＝チゾン、タラス＝ティラー 作 (偕成社)

やました はるお 訳

土の中から生まれたバーバパパは、フランソワと仲良くなりますが体が大きくなりすぎて、動物園に入れられてしまいます。けれども体の形を変えられるバーバパパは、人助けをして人気者になり、フランソワの家に帰ることができました。(シリーズあり)



おふろだいすき

松岡 享子 作

(福音館書店)

林 明子 絵

あひるのプッカと入るおふろは、ちょっとどきどきい気持ち。あれあれ、湯船の中からかめが顔を出しました。ペンギン、オットセイ、かば、くじらも現れます。

おふろの温かさと想像の楽しい世界が、ほのぼのとした黄色の画面から伝わります。

(4~6歳)



おまたせ クッキー

パット=ハッチンス 作

(偕成社)

乾 侑美子 訳

姉さんと弟が、お母さんが焼いた12枚のクッキーを食べようすると、玄関のベルが鳴ります。ベルが鳴るたびに、お友だちが次々とやってきます。とうとうクッキーは一人一枚ずつと思われましたが、意外な展開へ。明るい色彩と繰り返しの言葉が楽しい絵本です。



かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック 作

(富山房)

じんぐう てるお 訳

おかげのみぬいぐるみを着て大あばれしたマックスは、夕ご飯ぬきで寝室に放り込まれます。すると、部屋が森や海になり、船に乗って着いた「かいじゅうたちのいるところ」島で王さまになります。

少し不気味でユーモラスなかいじゅうたちの表情が魅力的です。



かしこいビル

ウィリアム・ニコルソン 作

(ペンギン社)

まつか きょうこ、よしだ しんいち 訳

メリーはおばさんに招待されました。用意が遅れあわてて汽車に乗ると、ビルという大事な人形を忘れてきたことに気づきました。ビルは懸命に走って追いかけます。

動きのある絵が情景をよく伝えています。



ガンピーさんのふなあそび

ジョン・バーニングム 作

(ほるぷ出版)

みつよし なつや 訳

ガンピーさんの舟に、動物たちが次々に乗せてとやってきます。みんな、いいこにすると約束しましたが、途中で騒ぎだし舟はひっくり返ってしまいます。その後、岸にあがりお茶を楽しみました。

温かみがあって、心がなごみます。(シリーズあり)

(4~6歳)



木はいいなあ

ユードライ 作

(偕成社)

シーモント 絵

さいおんじ さちこ 訳

この絵本は、たった1本の木でも自分のまわりにあれば、木に登ったり、実を食べたり、木陰で寝そべったりと、四季折々のいろいろな楽しみ方があると教えてくれます。



くまのビーディーくん

ドン・フリーマン 作

(偕成社)

まつおか きょうこ 訳

ゼンマイ仕掛けのくまのビーディーくんは、ほら穴に住みたいと出かけますが、そこでゼンマイが切れ動けなくなります。その時、仲良しのセイヤー君が助けに現れました。

おもちゃのくまと子どもの心の交流を描いています。



ぐりとぐら

なかがわ りえこ 作

(福音館書店)

おおむら ゆりこ 絵

野ねずみのぐりとぐらは森で巨大な卵を見つけました。家から材料や道具を持ってきて料理を始めるににおいて誘われて、森中の動物たちがやってきました。

明るいのびのびした絵、一緒に口ずさみたくなるような楽しい歌は、長い間愛されています。(シリーズあり)



ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ 作

(福音館書店)

堀内 誠一 絵

ひとりぼっちで汚いぞうのぐるんぱは、仲間のぞうに働きに出されます。何を作っても特大で失敗ばかり。でも、12人の子どもを持つお母さんに子守りを頼まれると、その失敗が役に立ち、幼稚園を開いて楽しく暮らします。

(4~6歳)



こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース 作

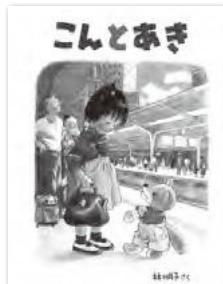
(福音館書店)

堀内 誠一 絵

石井 桃子 訳

お母さんに教わって飛ぶ練習をしていたこすずめが迷子になりました。そのうち羽が痛くなり、ついには疲れで飛べなくなってしまいます。

迎えに来たお母さんにおぶさって巣に帰り、安心して眠る結末に、子どもたちは安堵することでしょう。



こんとあき

林 明子 作

(福音館書店)

生まれた時からずっと一緒に過ごしてきた、ぬいぐるみのこんと女の子のあきが、ふたりだけで汽車に乗って、さきゆうまちのおばあちゃんの家まで行く冒險のお話です。こんとあきの互いを思いやる優しい表情が印象的です。



しずかなおはなし

サムイル・マルシャーク 文

(福音館書店)

ウラジミル・レーベデフ 絵

うちだ りさこ 訳

真夜中の暗い森の道を、はりねずみの親子が散歩に出かけます。おおかみたちは、はりねずみを見つけそつと忍び寄ってきますが、はりねずみたちは針のまりになつて身を守ります。

写実的で幻想的な絵が静かに語りかけてきます。



11ぴきのねこ

馬場 のばる 作

(こぐま社)

いつも腹ペこの11ぴきのねこは、湖で大きな魚を捕まえました。あまりにも大きな魚だったので、みんなに見せようと食べずに持ってかえることにしました。ところが夜が明けると、魚は骨だけになっていました。

(シリーズあり)



14ひきのひっこし

いわむら かずお 作

(童心社)

14ひきのねずみの一家が新しいおうちを探しておひっこし。みんなで川を渡り、こわいいたちにも気を付けながら森の奥を目指して進みます。すてきな根っこをつけたら、お部屋を作って水道をひいて、みんなで一緒におうち作りの始まりです。(シリーズあり)



しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺 茂男 作

(福音館書店)

山本 忠敬 絵

じぶたは古いジープを改良した小さな消防車です。大きな火事には出動できずに悲しい思いをしていると、ある日、山小屋で火事があり、小回りのきくじぶたが大活躍します。

子どもはじぶたになりきって楽しめます。



せんたくかあちゃん

さとう わきこ 作／絵

(福音館書店)

洗濯の大好きなかあちゃんは、落ちてきた雷さままでも洗ってしまいます。消えてしまった雷さまの顔を描いてやると、「いい男になった」と大喜び。翌日、大勢の雷さまが「洗濯してくれ」と押しかけてきます。

何でも洗ってしまうかあちゃんがおおらかで迫力があります。(シリーズあり)



そらいろのたね

なかがわ りえこ 文

(福音館書店)

おおむら ゆりこ 絵

ゆうじときつねは宝物の模型飛行機とそらいろのたねを交換します。たねを植えて水をやると、そらいろの家が出てきました。家はどんどん大きくなって、たくさん動物達がやってきます。ユーモアあふれる楽しいお話を聞けます。

(4~6歳)



だるまちゃんとてんぐちゃん

加古 里子 作／絵

(福音館書店)

だるまちゃんは、友だちのてんぐちゃんが持っているうちわや帽子などがほしくてたまりません。同じ物が見つからないので、だるまちゃんは、葉っぱのうちわ、おわんの帽子などを考え出します。

親しみやすい絵と、同じものを探す楽しさのある絵本です。(シリーズあり)



ちいさいしょうぼうじどうしゃ

ロイス・レンスキー 文／絵

(福音館書店)

わたなべ しげお 訳

スモールさんと小さい消防自動車はいつも消防署に待機しています。出動のベルにはね起きたスモールさんは、現場につくやいなや的確に指示を出し、無事に鎮火しました。

ていねいな描き方で、臨場感が伝わってきます。
(シリーズあり)



ちいさなヒッポ

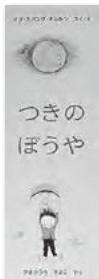
マーシャ・ブラウン 作

(偕成社)

うちだ りさこ 訳

小さなかばのヒッポは言葉を練習中です。ある日、ひとりで遊んでいると、突然わにに襲われます。ヒッポは覚えたての言葉を叫び、危ないところをお母さんに助けられました。

木版画ならではの力強い線と美しい色の重なりから、動物の迫力ある動きが伝わってきます。



つきのぼうや

イブ・スパンギング・オルセン 作／絵

(福音館書店)

やまのうち きよこ 訳

池の中に自分と同じ顔を見つけたお月さまは、友だちになりたいので連れてきてほしいと「つきのぼうや」に頼みました。ぼうやは下へ下へと降りて行きながら、いろいろなものに出会います。

細長い本の形が空の高さを感じさせます。



ティッチ

パット・ハッチンス 作／絵

(福音館書店)

いしい ももこ 訳

ティッチは末っ子です。兄と姉は大きな自転車を持っているのに、ティッチには三輪車しかありません。兄は大きなシャベル、姉は大きな植木鉢を持っているのに、ティッチには小さな種しかないのでした。でもその種は芽を出して皆の背よりも大きくなりました。

(シリーズあり)



どうぞのいす

香山 美子 作

(ひさかたチャイルド)

柿本 幸造 絵

うさぎさんが、小さないすを作って、野原の木の下におきました。早速ろばさんがやってきて、いすの上にどんぐりのはいったカゴをおいてお昼寝を始めました。目をさましたろばさんはビックリ。思いやりの心がつながる、やさしいお話です。



どうながのプレツツェル

マーガレット・レイ 文

(福音館書店)

H・A・レイ 絵

わたなべ しげお 訳

プレツツェルは、世界一胴長のダックスフント。ドッグショーで優勝しましたが、大好きなグレタには、「どうながなんてだいきらい」とふられてしまいます。ところがある日深い穴に落ちたグレタを、プレツツェルが自慢の胴長で助けたことから、結婚することができました。



とこちゃんはどこ

松岡 享子 作

(福音館書店)

加古 里子 絵

元気な男の子のとこちゃんは、市場でも、動物園でも、海でも、すぐかけだしていってしまうので、大人たちは見つけるのが大変です。

大勢の人ごみの中から、赤い帽子に青い半ズボン姿のとこちゃんを探し出す楽しさがあります。

(4~6歳)



とりかえっこ

さとう わきこ 作

(ポプラ社)

二俣 英五郎 絵

どうぶつのなきごえをとりかえっこしたらどうなるのでしょうか？ひよこさんはねずみさんととりかえっこします。次はぶたさんととりかえっこして、その次はかえるさんととりかえっこします。ひよこさんはもとにもどれるのでしょうか？



なかよしのくまさん

ロバート・ブライト 作

(富山房)

小林 いづみ 訳

マーくんは、おじいちゃんにおはなしを読んでもらうのが大好きです。仲良しのくまさんに読んでもらおうとしましたが、やっぱりおじいちゃんでないとダメでした。

ラフな線に彩色した柔らかな茶色が温もりを感じさせます。



なにをたべてきたの？

岸田 裕子 文

(俊成出版社)

長野 博一 絵

おいしそうできれいなりんごをみつけたしろぶたくんは、りんごをぺろり。すると、しろぶたくんの体には、きれいな赤い色が。まだまだおなかがすいているしろぶたくんは、レモンにメロン、ぶどう…とつぎつぎと食べていきます。鮮やかな色合いの果物とリズミカルな繰り返しのお話が楽しい絵本です。



はじめてのおつかい

筒井 賴子 作

(福音館書店)

林 明子 絵

初めてお使いに出たみいちゃんは、お店の人になかなか気づいてもらえません。でもちゃんと買い物ができる帰り道で、ママが待っていてくれました。

子どもと大人の両方が、みいちゃんとママの気持ちになって読むことができます。



ピーターのいす

E=ジャック=キーツ 作

(偕成社)

きじま はじめ 訳

妹が生まれたので、ピーターのゆりかごも食堂のいすも、妹のスージーのものになってゆきます。それが気に入らないピーターでしたが、もう小さいいすには座れないことに気がつき、ピンクに塗り直してあげることにしました。

妹を受け入れるまでのピーターの成長が描かれています。
(シリーズあり)



ピーターラビットのおはなし

ピアトリクス・ポター 作／絵

(福音館書店)

いしい ももこ 訳

こうさぎのピーターは、お母さんの言いつけを破って、お百姓のマグレガーさんの畑へ行き野菜をたらふく食べます。ところがマグレガーさんに見つかり散々な目にあいます。

手のひらにのる程の小型絵本です。(シリーズあり)



ふしぎなナイフ

中村 牧江、林 健造 作

(福音館書店)

福田 隆義 絵

一本のナイフがあります。このナイフひとりでに「曲がる」「ねじれる」「折れる」「割れる」「溶ける」「切れる」突然糸のように「ほどける」。さらに伸びて縮んで、どんどん形が変わっていきます。最後までナイフから目が離せない不思議な世界です。



ぼくにげちゃうよ

マーガレット・W・ブラウン 文

(ほるぷ出版)

クレメント・ハード 絵

いわた みみ 訳

こうさぎが「ぼくにげちゃうよ」と、さかなになったり岩になったりと想像の世界を逃げまわります。お母さんは、それに合わせて姿を変えながら追いかけます。

親子の対話のやさしい響きが、心に残ります。

(4~6歳)



まあちゃんのながいかみ

たかどの ほうこ 作

(福音館書店)

髪の短いまあちゃんは、長い髪を自慢する友だちに「あたしなんかね、もっとずっとのばすんだから」と言い出します。長く伸びた髪で橋の上から釣りをしたり、10人がかりでとかしてもらったりと楽しい想像の世界が広がっていきます。(シリーズあり)



めっきらもっきらどおんどん

長谷川 摂子 作

(福音館書店)

ふりや なな 画

かんたが「めっきらもっきらどおんどん」とめちゃくちゃな歌をうたうと、ご神木の中に吸いこまれてしまいました。そこへやってきた3人のへんてこなおばけと、おもいっきり遊びます。

独特な色彩と奇妙な言葉が不思議な世界をつくっています。



やさいのおなか

きうち かつ 作／絵

(福音館書店)

野菜の「おなか」ってどんな色や形をしているのかな? 「これ なあに」という問い合わせの後に、野菜の「おなか」の断面が白黒とカラーで写実的に描かれています。親子でやりとりを楽しめる絵本です。(シリーズあり)



ゆかいなかえる

ジュリエット・キーピス 文／絵

(福音館書店)

いしい ももこ 訳

4つのたまごが、おたまじやくしからかえるになりました。歌って遊んで泳ぎ回り、食べようと狙う鳥やかめを出しぬいて、夏を楽しく過ごします。そして冬には土の中へ眠るのです。

かえるたちの愉快な生活が、のびやかな線で、いきいきと描かれています。

(4~6歳)



よかつたねネッドくん

チャーリップ 作

(偕成社)

やぎた よしこ 訳

「びっくりパーティにいらっしゃい」この手紙がネッドくんの冒險のはじまりです。飛行機が爆発して、たいへん。でも良かった、パラシュートがあつて。災難と幸運をくりかえし、パーティ会場に登場します。

カラーと白黒の絵の対比がユニークです。



ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ 文／絵

(福音館書店)

とくなが やすもと 訳

ラチは世界一よわむしな男の子です。ある日、小さな赤いライオンに出会ったラチは、強くなる練習をして、とうとう一人だけでいじめっ子に勝つことができました。

すっきりとした線画に赤・緑・黄の3色が利いています。



りんごの木

エドアルド・ペチシカ 文

(福音館書店)

ヘレナ・ズマトリーコバー 絵

うちだりさこ 訳

冬、マルチンの家の庭には1本のりんごの木が植えてありました。マルチンは、りんごの木に興味を持ち世話をすることになりました。春、夏が過ぎ、秋には一つだけ残った実が大きくなりました。

四季の流れの中に、りんごの成長とマルチンの成長が描かれています。

わゴムはどのくらいのびるかしら？

マイク・サーラー 文

(ほるぷ出版)

ジェリー・ジョイナー 絵

きしだえりこ 訳

ぼうやは、輪ゴムがどのくらいのびるか、試してみることにしました。ベッドにひっかけた輪ゴムの端をひっぱりながら、バスやロケットに乗って輪ゴムは、とうとう月まで伸びました。そして、ぼうやは一步ふみだそうとしたとたん、輪ゴムはボーンとはねて、部屋に戻りました。



(4~6歳)



わたしとあそんで

マリー・ホール・エツ 文／絵 (福音館書店)

よだ じゅんいち 訳

女の子がはらっぱへ行き、「あそびましょ。」とぼったやかめ、うさぎなどに声をかけますが、逃げられてしまいます。ところが静かに座っていると次々にみんなが戻ってきました。

女の子の心の動きが、表情豊かに描かれています。

(昔話えほん)



赤ずきん ーグリムー

バーナディット・ワツ 絵

(岩波書店)

生野 幸吉 訳

赤ずきんは、おばあさんの家へおつかいを頼れます。
でもお母さんの言いつけを守らず道草をしたため、おお
かみに食べられてしまいます。

華麗な色彩で描かれた大型絵本です。



いっすんぱうし

いしい ももこ 文

(福音館書店)

あきの ふく 絵

手の指ほどの小さな男の子が、お椀の舟で京の都に行
き、鬼から奪った打ち出の小槌のおかげで、立派な若者
になりました。

都の美しさ、若者の凛々しさが絵巻物のように描かれ
ています。



うらしまたろう

時田 史郎 再話

(福音館書店)

秋野 不矩 絵

かめを助けたたろうが竜宮で過ごしたのは3年でした
が、里へ帰ると300年たっていました。たろうが、悲
しみのあまり乙姫からもらった玉手箱を開けてしま
うと、煙が立ち昇り白髪の老人になってしまいました。

水彩の絵は竜宮の不思議な美しさをよく表しています。



王さまと九人のきょうだい ー中国の民話ー

君島 久子 訳

(岩波書店)

赤羽 末吉 絵

顔もかたちもそっくりな9人のきょうだいがいまし
た。「ちからもち」や食べなくとも平気な「はらいっぱ
い」など、それぞれの特技で悪い王に勝ちました。

力強い描写と中国の風景が見事に調和しています。

(昔話えほん)



おおかみと七ひきのこやぎ ー グリム童話ー

フェリクス・ホフマン 絵

(福音館書店)

瀬田 貞二 訳

おおかみはお母さんやぎの留守にこやぎたちを飲み込んでしまいます。時計の中にいて助かった末のこやぎとお母さんやぎは、野原で寝ていたおおかみのお腹からこやぎたちを助け出しました。

落ち着いた色調の画面から緊張感が伝わります。



おおきなかぶ ー ロシア民話ー

A. トルストイ 再話

(福音館書店)

佐藤 忠良 絵

内田 莉莎子 訳

おじいさんの育てたかぶは、大きくなってひとりでは抜くことができません。おばあさん、孫、いぬ、ねこ、ねずみを次々に呼んでやっと抜けました。

横長の画面に大きなかぶが描かれ、リズミカルな言葉のくり返しが楽しめます。



おだんごばん ー ロシア民話ー

せた ていじ 訳

(福音館書店)

わきた かず 絵

おばあさんがおだんごばんを焼いて冷やしていると、ばんは転がって逃げてしまいました。途中、出会った動物たちに食べられそうになりますが、楽しい歌を聞かせて切り抜けます。ところが、口のうまいきつねにのせられて、とうとう食べられてしまいました。



かさじぞう

瀬田 貞二 再話

(福音館書店)

赤羽 末吉 絵

貧乏なじいさんが、吹雪にさらされていた6人のじぞうさまに売れ残りの笠をかぶせてあげました。その晩、笠をかぶったじぞうさまたちがじいさんの家へやってきました。

扇面の中の墨絵風に描かれた絵は素朴な雰囲気を伝えています。

(昔話えほん)



かちかちやま

おざわ としお 再話

(福音館書店)

赤羽 末吉 画

悪いたぬきにばあさまを殺されたじいさまは、悲しみにくれます。すると、うさぎがたぬきの背中に火傷をさせ、土の舟ごとたぬきを沈めてかたきをとってくれました。



かにむかし

木下 順二 文

(岩波書店)

清水 崑 絵

さるに親を殺されたこがにたちは、仇討ちに出かけます。途中で栗・蜂・石臼などが仲間に加わり、ついにさるをやっつけました。

「さるかに合戦」で馴染み深い日本の昔話です。迫力のあるユーモラスな絵で、繰り返しのリズムは心地よく響きます。



3びきのくま

トルストイ 文

(福音館書店)

バスネツオフ 絵

おがさわら とよき 訳

散歩に岡かけた3びきのくまの家に、道に迷った女の子が入り込み、勝手にスープを飲み、そしてベッドに入って寝ってしまいます。

大きい、中くらい、小さいという言葉や、ミハイル・イワノビッチといったくまの名前の繰り返しが楽しいロシアの昔話です。



3びきのこぶた　－イギリス昔話－

山田 三郎 絵

(福音館書店)

瀬田 貞二 訳

「3びきのこぶた」はそれぞれ家を建てました。わらと木の家はおおかみに壊され、こぶたも食べられてしましましたが、レンガの家はビクともしません。おおかみはあの手この手でこぶたを誘い出しますが、こぶたは知恵を働かせて、とうとうおおかみを食べてしまいます。

(昔話えほん)



三びきのやぎのがらがらどん －北欧民話－

マーシャ・ブラウン 絵

(福音館書店)

せた ていじ 訳

「三びきのやぎのがらがらどん」は、草を食べに山へ登ります。途中の橋にはトロルが、ひとのみにしようと待ち構えていました。はじめの2ひきは「もっと大きいやぎがくるよ」と言って渡り、大きなやぎは、トロルをこなごなにします。やぎの表情が圧巻です。



ブレーメンのおんがくたい －グリム童話－

ハンス・フィッシャー 絵

(福音館書店)

せた ていじ 訳

年を取り働けなくなった、ろば、いぬ、ねこ、おんどりはブレーメンの町の音楽隊に入ろうと出かけます。途中、森の中で見つけた泥棒の家の前で、皆で一斉に音楽をはじめると、泥棒たちはびっくりして逃げ出してしまいました。

動物たちの表情を豊かに描き分けています。



ももたろう

松居 直 作

(福音館書店)

赤羽 末吉 画

桃から生まれた桃太郎は、鬼ヶ島の悪い鬼を退治しに行きます。途中、いぬ、さる、きじにきびだんごをやって仲間にし、見事に鬼を退治してお姫さまを助けました。

(知識えほん)



あがりめさがりめ

—おかあさんと子どものあそびうた—

ましま せつこ 絵

(こぐま社)

おうちで、子どもと一緒に「あがりめさがりめ」、公園でお友だちも一緒に「いもむしごろごろ」、思わず体を動かして口ずさんでしまいます。15のあそび歌がわかりやすく紹介されていて、楽譜もついています。

(シリーズあり)



あそぼうあそぼうおとうさん

浜田 桂子 作

(福音館書店)

小さい子どもから見ると、山のように大きいお父さんと遊ぶのはとても楽しいことです。お父さんにぶつかって、しがみついて、乗っかって、ひっぱって、登って、ぶらさがってすべてみましょう。

(シリーズあり)



いっしょにうたって！ ーたのしいうたの絵本ー

ましま せつこ 絵

(こぐま社)

「やぎさんゆうびん」「うれしいひなまつり」「うみ」「おかあさん」「お正月」など長く親しまれてきた子どもの歌を集めた絵本です。季節や行事の歌を含め29曲すべてに、楽譜がのっています。

(シリーズあり)



おなら

長 新太 作

(福音館書店)

「おならはどうしてでるの？」「どうしてくださいおならとくさくないおならがあるの？」「おならって一日にどれくらいでるのかな？」

おならのこんな疑問にわかりやすく答えてくれます。

(知識えほん)



こいぬがうまれるよ

ジョアンナ・コール 文

(福音館書店)

ジェローム・ウェクスター 写真

つぽい いくみ 訳

「おとなりのいぬにあかちゃんがうまれるの。いっぴきわたしがもらうんだ！」という子どもの目を通して、こいぬの成長を追っていく写真絵本。目も開いていなかつたこいぬは、母いぬから離れて遊ぶほど大きくなりました。



しづくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ 作

(福音館書店)

ボフダン・ブテンコ 絵

うちだ りさこ 訳

バケツから飛び出したしづくは、雲となり雨となり氷となって、またしづくになります。

しづくの長い旅を通して、水の循環を楽しくわかりやすく教えてくれます。



しっぽのはたらき

川田 健 文

(福音館書店)

藪内 正幸 絵

くもざるのしっぽは、物をつかんで手のような働きをします。カンガルーのしっぽは、体のバランスをとっています。

しっぽの形や役割を、写実的な絵と簡潔な文で紹介しています。



たんぽぽ

平山 和子 文／絵

(福音館書店)

たんぽぽを知っていますか。どんなところで見ましたか。1本の花は、小さな花のあつまりなのです。

実物大に描かれたたんぽぽの根の長さは圧巻です。

(知識えほん)



どうやってねるのかな

やぶうち まさゆき 作

(福音館書店)

コウモリやラッコやキリンは、どうやってねるのでしょ
うか。

ページをめくるごとに、ひとつひとつそんな疑問に答
えてくれる絵本です。正確に描かれた絵が、子どもの知
識欲を満たしてくれます。(シリーズあり)



ふゆめがっしょだん

富成 忠夫、茂木 透 写真

(福音館書店)

長 新太 文

落葉した冬の木の芽は、よく見ると、まるで動物の顔
のようです。

詩のような短い文章と共に、春を待ついろいろな木の
芽たちの愉快な表情を、アップでとらえた写真が並びま
す。公園や雑木林に行ってみたくなることでしょう。



みんなうんち

五味 太郎 作

(福音館書店)

動物も魚も、鳥も人間も、いろいろなところでいろい
ろなうんちをします。「いきものはたべるからみんなう
んちをするんだね」で結ばれます。

単純な絵と文で「うんち」をユニークに描いています。



わたし

谷川 俊太郎 文

(福音館書店)

長 新太 絵

わたし。男の子から見ると、女の子。赤ちゃんから見
ると、お姉ちゃん。先生から見ると、生徒。見る人によ
っていろいろに変化する「わたし」について、一緒に考
えていく絵本です。

索引

〈あ〉

- あおくんときいろちゃん (4~6歳) ······ 13
あかいかさ (2~3歳) ······ 6
赤ずきん (昔話) ······ 27
あがりめさがりめ (知識) ······ 31
あそぼうあそぼうおとうさん (知識) ··· 31
あたし、ねむれないの (4~6歳) ······ 13
あたしもびょうきになりたいな！
 (4~6歳) ······ 13
あひるのさんぽ (4~6歳) ······ 13
雨、あめ (4~6歳) ······ 14
ありこのつかい (4~6歳) ······ 14
アンガスとあひる (4~6歳) ······ 14

〈い〉

- いたずらきかんしゃちゅうちゅう
 (4~6歳) ······ 14
いっしょにうたって！ (知識) ······ 31
いっすんぽうし (昔話) ······ 27
いないいないばあ (0~1歳) ······ 1

〈う〉

- うらしましたろう (昔話) ······ 27

〈お〉

- 王さまと九人のきょうだい (昔話) ··· 27
おおかみと七ひきのこやぎ (昔話) ··· 28
おおきなかぶ (昔話) ······ 28
おかあさんとこども (2~3歳) ······ 6
おだんごぱん (昔話) ······ 28
おちゃのじかんにきたとら
 (4~6歳) ······ 15
おつきさま こんばんは (0~1歳) ··· 1
おっぱいおっぱい (0~1歳) ······ 1

- おでかけのまえに (2~3歳) ······ 6

- おててがでたよ (0~1歳) ······ 1
おなら (知識) ······ 31
おばけのてんぷら (4~6歳) ······ 15
おばけのバーバパパ (4~6歳) ······ 15
おふろだいすき (4~6歳) ······ 15
おまたせクッキー (4~6歳) ······ 16
おやすみ (0~1歳) ······ 2
おやすみなさいコッコさん (2~3歳) ··· 6
おやすみなさいのほん (2~3歳) ······ 7

〈か〉

- かいじゅうたちのいるところ
 (4~6歳) ······ 16
かさじぞう (昔話) ······ 28
かしこいビル (4~6歳) ······ 16
がたんごとんがたんごとん (0~1歳) ··· 2
かちかちやま (昔話) ······ 29
かにむかし (昔話) ······ 29
かばくん (2~3歳) ······ 7
ガンピーさんのふなあそび
 (4~6歳) ······ 16

〈き〉

- きつねとねずみ (2~3歳) ······ 7
木はいいなあ (4~6歳) ······ 17
きんぎょがにげた (2~3歳) ······ 7

〈く〉

- くだもの (0~1歳) ······ 2
くっついた (0~1歳) ······ 2
くまのティディちゃん (2~3歳) ······ 8
くまのビーディーくん (4~6歳) ······ 17
ぐりとぐら (4~6歳) ······ 17

ぐるんばのようちえん (4~6歳)	17	〈た〉	
たまごのあかちゃん (0~1歳)	3		
だるまちゃんとてんぐちゃん (4~6歳)	20		
こいぬがうまれるよ (知識)	32		
こすりのぼうけん (4~6歳)	18	タンタンのぼうし (2~3歳)	9
ころころころ (0~1歳)	3	たんぽぽ (知識)	32
こんとあき (4~6歳)	18		
〈こ〉		〈ち〉	
ちいさいしようぼうじどうしゃ (4~6歳)	20		
サンドイッチ サンドイッチ (2~3歳)	8	ちいさなうさこちゃん (0~1歳)	4
3びきのくま (昔話)	29	ちいさなヒッポ (4~6歳)	20
三びきのこぶた (昔話)	29	ちびゴリラのちびちび (2~3歳)	9
三びきのやぎのがらがらどん (昔話) .	30		
〈し〉		〈つ〉	
しづかなおはなし (4~6歳)	18	つきのぼうや (4~6歳)	20
しづくのぼうけん (知識)	32		
しっぽのはたらき (知識)	32	〈て〉	
じゃあじゃあびりびり (0~1歳)	3	ティッシュ (4~6歳)	21
11びきのねこ (4~6歳)	18	できるかな？あたまからつまさきまで (2~3歳)	9
14ひきのひっこし (4~6歳)	19	でんしゃ (2~3歳)	9
しょうぼうじどうしゃじぶた (4~6歳)	19		
しきくまちゃんのほっとけーき (0~1歳)	3	〈と〉	
せんたくかあちゃん (4~6歳)	19	どうすればいいのかな？ (0~1歳)	4
〈せ〉		どうぞのいす (4~6歳)	21
ぞうくんのさんぽ (2~3歳)	8	どうながのプレツツエル (4~6歳)	21
そらいろのたね (4~6歳)	19	どうやってねるのかな (知識)	33
そらはだかんぱ！ (2~3歳)	8	どこちゃんはどこ (4~6歳)	21
〈そ〉		ととけっこう よが あけた (0~1歳)	4
どのはな いちばん すきな はな？ (0~1歳)	4		
とりかえっこ (4~6歳)	22		

どれがぼくかわかる？（2～3歳）	10	ぼくのくれよん（2～3歳）	11
〈な〉			
なかよしのくまさん（4～6歳）	22	まあちゃんのながいかみ（4～6歳）	24
なにをたべてきたの？（4～6歳）	22		
〈に〉			
にんじん（0～1歳）	5	みんなうんち（知識）	33
にんじんさんがあかいわけ （2～3歳）	10		
〈ま〉			
めっきらもっきらどおんどん (4～6歳)	24		
〈み〉			
みんなうんち（知識）	33		
〈め〉			
めっきらもっきらどおんどん (4～6歳)	24		
〈ね〉			
ねこがいっぱい（0～1歳）	5	もうおきるかな？（0～1歳）	5
ねずみくんのチョッキ（2～3歳）	10	もこもこもこ（2～3歳）	12
〈は〉			
はけたよはけたよ（2～3歳）	10	ももたろう（昔話）	30
はじめてのおつかい（4～6歳）	22		
はなをくんくん（2～3歳）	11	やさいのおなか（4～6歳）	24
はねはねはねちゃん（2～3歳）	11		
はらぺこあおむし（2～3歳）	11	ゆかいなかえる（4～6歳）	24
〈ひ〉			
ピーターのいす（4～6歳）	23	よかったですねネッドくん（4～6歳）	25
ピーターラビットのおはなし (4～6歳)	23		
〈ふ〉			
ふしぎなナイフ（4～6歳）	23	ラチとらいおん（4～6歳）	25
ふゆめがっしょうだん（知識）	33		
ブレーメンのおんがくたい（昔話）	30	りんごのき（4～6歳）	25
〈ほ〉			
ぼくにげちゃうよ（4～6歳）	23		

〈わ〉

わゴムはどのくらいのびるかしら？	
(4～6歳) ·····	25
わたし（知識） ······	33
わたしとあそんで（4～6歳） ·····	26
わたしのワンピース（2～3歳） ·····	12
わにわにおふろ（2～3歳） ·····	12

区立図書館

図書館名	住 所	電話番号
真砂中央図書館	本郷4-8-15	3815-6801
本郷図書館	千駄木3-2-6	3828-2070
小石川図書館	小石川5-9-20	3814-6745
本駒込図書館	本駒込4-35-15	3828-4117
水道端図書館	水道2-16-14	3945-1621
目白台図書館	関口3-17-9	3943-5641
千石図書館	千石1-25-3	3946-7748
湯島図書館	本郷3-10-18 (湯島総合センター内)	3814-9242
根津図書室	根津2-20-7 (不忍通りふれあい館2階)	3824-2608
大塚公園みどりの図書室	大塚4-49-2 (大塚公園内)	3945-0734

えほんがすき

2003年10月初 版

2018年4月第2版

文京区立図書館

印刷物番号 L0623063

